

第109回ISO/Council(理事会) 結果報告

経済産業省基準認証政策課

松本満男

令和元年7月22日

理事会の任務・理事会参加の委員会

1. 任務・責務

- ISOの中心統括機関。年に3回開催され、20のメンバー機関代表、ISO役員、政策開発委員会（CASCO、COPOLCO、DEVCO）の議長で構成。
- 理事会の議長は、会長又は副会長（政策担当）が務める。
- 財務監事、15名のTMBメンバー及び政策開発委員会の議長を指名。
- 中央事務局の年間予算を決定。

2. 傘下の委員会

- 会長委員会（President's Committee）
- 常設委員会： 理事会戦略常設委員会（CSC/SP）、理事会財政常設委員会（CSC/FIN）、理事会ノミネーション常設委員会（CSC/NOM）、理事会組織統治慣行監督常設委員会（CSC/OVE）
- アドバイザリーグループ： 販売（CPAG）、情報技術（ITSAG）
- 政策開発委員会： 適合性評価委員会（CASCO）、消費者政策委員会（COPOLCO）、発展途上国対策委員会（DEVCO）

理事会の議長・メンバー・事務局の紹介

3. 主要出席者

● ISO役員

Mr. John Walter (会長), Mr. Eddy Njoroge (次期会長), Dr. Scott Steedman (副会長(政策)), Ms. Sauw Kook Choy (副会長(技術管理)), Mr. Mitsuo Matsumoto (副会長(財政)), Mr. Dominique Christin (財務監事), Mr. Sergio Mujica (事務局長)

● 理事会メンバー (19名)

Mr. Ricardo Fragoso (ブラジル), Mr. Olivier Peyrat (仏), Mr. Christoph Winterhalter (独), Mr. Joe Bhatia (米), Ms. Surina Rajan (印), Mr. David Bell (英), Dr. Puji Winarni (尼), Ms. Fadilah Baharin (馬), Mr. Igor Božičević (クロアチア), Mr. César Díaz Guevara (エクアドル), Mr. Riadh Soussi (チュニジア), Mr. Mauricio Céspedes Mirabelli (コスタリカ), Mr. Osvaldo Petroni (アルゼンチン), Mr. Arman Shakkaliyev (カザフスタン), Dr. Tian Shihong (中), Dr. Saad Alkasabi (サウジアラビア), Mr. Thomas Idermark (スウェーデン), Mr. Urs Fischer (スイス), Mr. Javier García Díaz (スペイン)

- ISO 関連委員会 : Mr. Franck Makamo (CASCO 議長), Mr. Guillermo Zucal (COPOLCO 議長), Ms. Léna Dargham (DEVCO 議長)
- ISO 中央事務局 : Mr. Nicolas Fleury (副事務局長), Ms. Julie Chamay (人材部門長), Mr. Stéphane Châtelet (IT サービス部長), Mr. Adrian Goh (シンガポール地域事務所長), Mr. Erich Kieck (キャパシティービルディング部長) 等

関係機関との協力体制

【議題5.5】 WSC (World Standards Corporation)の進捗報告

<背景>

- 本年2月、第18回WSC会合を開催。

各機関からの主な出席者	
IEC	会長：Mr. James Shannon、次期会長：Dr. Yinbiao Shu、副会長兼SMB議長：Dr. Ralph Sporer、事務総長：Mr. Frans Vreeswijk、幹事：Ms. Katharine Fraga
ISO	会長：Mr. John Walter、副会長(政策)：Mr. Scott Steedman、副会長(技術管理)：Ms. Sauw Kook Choy、事務局長：Mr. Sergio Mujica、WSC幹事：Mr. Henry Cuschieri
ITU	標準局長代理：Dr. Reinhard Scholl

<審議内容・結果> 決議番号26/2019

- WSCの枠組での協力強化に関するイニシアチブに注目し、ISO－ITU間の協力について各国の標準化機関が政府機関に伝達するためのガイダンス文書の作成をISO事務局長に指示。
- 各国標準化機関には、ガイダンス文書に従って実施されたアクションについて事務局長に報告することを推奨。

【議題5.4】 PSDO協力協定の見直し

＜背 景＞

- 現在ISOは、ASTM International、SAE International、IEEEとPSDO（Partner Standards Development Organization）協力協定を締結(2019年に更新予定)。
- CIEとの協定の締結（議題8.2、理事会決議34/2019）を考慮し、既存の協定の実施状況を調査したところ、下記の懸念点が浮上。
 - ・ 協定に基づき共同規格として採択しているにもかかわらず、元の団体がオリジナルの規格を維持管理している（ユーザーに混乱を与える可能性）
 - ・ 協定に基づき発行された規格とその中で参照される規格の販売に関する条件

＜審議内容・結果＞ 決議番号27/2019

- 理事会は、CSC/SPに既存のPSDO協力協定の評価・報告を指示。
- 上記評価・報告活動に米国代表（ANSI）の理事会委員の参加を許可。
- 並行して、事務局長に現在のPSDO協力協定の更新に関する交渉を指示。

【議題外】 ISO会長への特別顧問（2020－2021）の設置

＜背 景＞

- ISO及びIECそれぞれにおいて会長の交代が行われることから、両機関間の現在の良好な協力関係を維持するための策として、次期ISO会長（ケニア）から提案。

＜審議内容・結果＞ 決議番号45/2019

- ISOとIECとの緊密な協力が、国際標準化システムを強化し前進させるための鍵であることを認識。
- 2020年から2021年にかけてのISO会長特別顧問として、現会長ジョン・ウォルター氏を任命。

予算関係

【議題9.1】 2018年末の会計監査報告

＜背 景＞

- ISO内規に則り2018年の会計監査報告が提出され、余剰金の処理方法が提案。

＜審議内容・結果＞ 決議番号40/2019

- 総会に下記事項を推奨。
 1. 余剰金（5,938kCHF）を下記のとおり配分。
 - a. 発展途上国の行動計画2016-2020を実施するための開発・訓練プログラムに750kCHF
 - b. ISO規格の販売で2018年にISO/CSに支払われた著作権料に比例した会員への返金に2,377kCHF
 - c. ISO/CS Webストアの2018年の売上に対する会員への遡及金に2,376kCHF
 2. 2018年度のISO/CSの会計監査を閉じることを承認。
 3. 2018年度のISO/CSの監査済み財務諸表を承認。

【議題9.1】 2018年末の会計監査報告

＜参 考＞CSC/FIN議題5:2018年余剰金と会計監査報告

- ISOのCapacity Building Directorは、2020年がAPDC3（Action Plan for developing countries）の最終年であることを懸念。
- CSC/FINに対して下記の理由から、2018年の余剰金のうち 750kCHFをキャパシティビルディング活動に割り当てるよう要請。
 - 発展途上国のキャパシティービルディングは発展途上国だけの問題ではなくISO全体の重要な課題
 - 今後のキャパシティービルディングの資金調達に向け鋭意活動中
 - APDC3において合意されたレベルの支援を継続するために、2020年がその実施計画の最終年
- CSC / FINは、APDC3の継続性を確保するため、750kCHFをキャパシティビルディング活動に割り当てることを例外的に支持。
- 本来、キャパシティービルディングのための資金は、余剰金に頼ることは適切ではなく、資金調達のために更なる努力が必要があることを指摘。

【議題9.2】 オンライン協働執筆プロジェクトの予算計画

<背 景>

- オンライン共同執筆プロジェクトは、ISOコミュニティに技術文書の作成・見直し、それに関するコメント等が可能なソリューションを提供することを目的とし、IECとも協働しながら検討。

<審議内容・結果> 決議番号41/2019

- オンライン共同執筆プロジェクトの財務上の影響に関する情報・報告、及び CSC / FINによるコメントを認識。
- オンライン共同執筆プラットフォームのプロバイダーとして、情報技術戦略諮問グループ（ITSAG）によって選定された Fonto Group BVを承認。
- 事務局長に、この決定を実施する際に理事会で出されたコメントを考慮するよう要請。

国家標準化機関の参加資格

【議題7.1】 ボリビア（IBNORCA）の正式会員への昇格

<背 景>

- 1994年に購読会員として加入したIBNORCAは、1988年に通信会員に昇格。
- 2018年の総会での事務局長との対談を機に、正式会員への昇格を検討。
- 現在、Pメンバーとして5つの委員会に参加しており、2018年の投票率はCIB投票で91%、DIS/FDIS投票で67%。

<審議内容・結果> 決議番号30/2019

- 2019年7月より、IBNORCA は通信会員から正式会員に昇格。
- 理事会決議9/2017に従い、5ユニット分（24,520CHF）の会費を割り当てる。

<参考> IBNORCAの登録委員会（2019年7月12日現在）

Pメンバー（5委員会）

ISO/CASCO, ISO/TC34/SC17, ISO/TC176/SC3, ISO/TC282/SC1, ISO/TC301

Oメンバー（21委員会）

ISO/COPOLCO, ISO/DEVCO, ISO/GA, ISO/TC34, ISO/TC37, ISO/TC59,
ISO/TC59/SC16, ISO/TC71, ISO/TC71/SC5, ISO/TC85, ISO/TC85/SC2, ISO/TC176,
ISO/TC176/SC1, ISO/TC176/SC2, ISO/TC207, ISO/TC224, ISO/TC228, ISO/TC260,
ISO/TC275, ISO/TC282

【議題10.1】 通信会員及び購読会員のためのNRPプログラム

<背 景>

- ISO規格開発において幅広い国々の参加を促すために2013年より開始された New Right Pilot (NRP) プログラムが2019年末に期限切れを迎える。
- 本権利を行使することで、通信会員及び購読会員は最大 5 つの委員会に P メンバーとして参加でき、購読会員はNRPプログラムの下で開発したISO規格を国家規格として採用することが可能。

<審議内容・結果> 決議番号43/2019

- 以下の勧告を承認。
 - a. 会員はNRPプログラムに一度だけ参加できるという条件で、プログラムを恒久化。
 - b. 5年間の期間制限を導入にするために委任事項を改訂。
 - c. NRPプログラムに4年以上Pメンバーとして参加している会員のための2年間の移行計画。

今後のISO戦略

【議題5.2】 2019EXECUTIVE SCORECARDの改定

＜背 景＞

- 2016年～2020年の戦略の達成のため、2019年のEXECUTIVE SCORECARDについて議論。

＜審議内容・結果＞ 決議番号35/2019

- 一部の変更点についてはTMBで議論を行うことで承認。主なスコアカードのStrategic Direction（戦略指標）は以下の通り。

SD01:ISOの販売、著作権料による収入

SD02:規格開発の時間及び予定期間内の開発率、並びに誤植なしで発行された割合

SD03:WG内での利害関係者の割合並びに新規登録のリエゾン総数及び活動的な（投票時にコメントがあった）利害関係者

SD04:キャパシティービルディング活動率と基金の使用率

SD05:ITツールの満足度

SD06:コミュニケーションツールの満足度

【議題8.3】 ISO戦略2030

<背 景>

- 2019年2月の理事会メンバーワークショップに基づき、事務局長にISOの次期戦略の草案とISO会員への調査案の作成を指示。
- 今理事会で上記2つの文書案について議論。

<審議内容・結果> 決議番号37/2019

- 次回のISO戦略制定ためのISO会員への調査のスケジュールを2019年7月から8月末までとすることを承認。
- 今理事会に提出されたISO戦略2030の草案について字句の修正を行った上で、調査のために回覧することを決定。

【議題8.4】 シンガポール地域事務所のKPIのアップデート

<背 景>

- 2013年からシンガポールのREI（Regional Engagement Initiative）を期限付のパイロットプロジェクトとして設置。
- 2018年9月の理事会でREIの恒久化について議論されたが、否決。2020年までのプロジェクトとしての継続が決定され、REIの恒久化の条件について決定するため、事務局長に上記プロジェクトの目的、予想される成果物、財務面での持続可能性及びKPIの見直しを指示。

<審議内容・結果> 決議番号38/2019

- 今理事会に提出されたREIの改訂された目的とKPIに留意。
- 事務局長に下記事項を指示。
 - a. 2020年9月にREIの評価に関する報告を理事会に提出する際に上記の目的及びKPIを使用すること。
 - b. KPIについては、可能な範囲で影響に基づく基準（Pメンバーの増加数、売上高、国家規格への採用数等）で補完し、他の地域と比較すること。

ご清聴ありがとうございました

経済産業省～「標準化・認証」の紹介ページ

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/kijyun/index.html>

日本産業標準調査会ホームページ

<http://www.jisc.go.jp/>